

Cente Technical Information

発行番号	108-0007	Rev	第1版	発行日	2013/01/08
題名	冗長領域のLogical Block Addressに2bit以上のデータ化けがあった場合、正しくエラーを検出できない不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente NAND Flash Driver Ver1.30				
影響関数	mount(), NFLogical_Format()				
関連資料	なし				
【現象】 冗長領域のLogical Block Address1とLogical Block Address2の値に2bit以上の違いがあった場合は、論理物理アドレス変換テーブルへの登録を行わずにアクセス対象外のブロックとして管理する必要がありますが、2bit以上の違いがあった場合でも、論理物理アドレス変換テーブルに登録してしまう場合があります。その結果、アドレスの管理が正しく行えずに誤ったブロックにアクセスしてしまう可能性があります。					
【原因】 2bit以上のデータ化けはLogical Block Address1とLogical Block Address2の値をXORした後、値が「1」になったbit(相違があったbit)をカウントすることにより検出していますが、カウント値をもとにしたエラーの判定文に誤りがありました。					
【回避方法】					
■運用での回避方法 運用での回避方法はありませんのでプログラムの修正を行なって下さい。					
■プログラム修正による回避方法 修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					